

事業者向け 児童発達支援自己評価表

キッズランド まめの木 石岡校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100.0%			
	2	職員の配置数は適切であるか	85.7%		14.2%	子一人に対し職員の必要人数（法的な事）は分からない。適切である。日によって変わる。フロアー見守りを行っている。有資格者は毎日いなくても良いのか？
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%			スロープやトイレにてすりは設置してある。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか PDCA…P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）	42.9%	28.5%	28.5%	ミーティングでは話し合っているが、支援について統一性がない。ミーティング（月1回）で5人位ずつ、職員間で話し合い共通認識のもと支援を行う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	85.7%		14.2%	アンケートをもとに職員間で話し合い、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	42.9%		57.1%	公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか（まめの木では、第三者評価は行っていない）		85.7%	14.2%	
	8	職員の資質の向上をために、研修や勉強会の機会を設けているか	100.0%			月1の社内研修の他に勉強会を設けてほしい。子どもに対する接し方、メンタル的な事を学ぶ機会が欲しい。毎月の研修後のミーティング時に意見交換。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	85.7%		14.2%	保護者と面談して作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール（知能検査・発達検査）を使用しているか	14.2%	42.9%	42.9%	使用していない。どのようなアセスメントツールがあるのか検討。他校は使用しているのか確認する。
	11	児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85.7%		14.2%	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	85.7%		14.2%	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%			案を手直ししている。（R6～）
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	85.7%		14.2%	

	15	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100.0%			
--	----	--	--------	--	--	--

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%			平日（9:30, 13:30）ミーティング
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%			翌日にミーティングを行う。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	85.7%	14.2%		連絡帳を記入することで記録に残している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	85.7%		14.2%	現状を確認し行う。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	85.7%		14.2%	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	71.4%		28.5%	
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	28.5%	42.9%	28.5%	現在は医ケア0の為、行っていない。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14.2%	42.9%	42.9%	現在は医ケア0の為、行っていない。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100.0%			
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100.0%			
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	71.4%	14.2%	14.2%	相談員さんの話を聞いている。

	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	57.1%	28.5%	14.2%	併用している。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	14.2%	57.1%	28.5%	参加していない。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%			
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	71.4%		28.5%	送迎時にアドバイスを行っている。(まめの木では～しています。自宅でもどうでしょうか?等)

保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%			
	32	作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100.0%			
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	85.7%		14.2%	送迎時に話をしている。
	34	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	85.7%		14.2%	保護者会や夏祭り等の開催。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	71.4%		28.5%	迅速に対応している。
	36	定期的にまめの木通信を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100.0%			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	85.7%		14.2%	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	28.5%	42.9%	28.5%	特にない。

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	100.0%			契約時に保護者に説明を行っている。災害時に避難が必要な場合は八郷中央公民館へ移動。面談時等に再度伝える(要検討)
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%			行っている(年2回)。予定表に避難訓練と記載してある。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	71.4%		28.5%	家庭と連絡をとり、状況を確認している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の移行や医師の指示書に基づく対応がされているか	71.4%		28.5%	行っている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	85.7%		14.2%	共有している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を確保する等、適切な対応をしているか	85.7%		14.2%	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	57.1%		42.9%	していない。